

グループの提案・質問の内容

グループ	提案・質問の内容
①子ども・若者がいきいきと暮らせるまちづくりグループ	【放課後の学校を使用した、子ども、若者が参加できるイベントの開催】 子ども・若者の居場所づくりのための、放課後および長期休暇期間の学校を使ったイベントの実施。 【生活リズムスタンプカードの配付と、相談できる機会の増加】 スタンプカードを活用して早寝への意識を高め、生活リズムを整えて、集中して学習に取り組めるようにする。
②自然環境を守るまちづくりグループ	【自然環境を守り、脱炭素を目指すまちづくり】 学校給食の残飯と、食材の「千産千消」によりフードマイレージを減らす取組。 【地球環境保全ポスターの活用】 ポスターをより多くの人に認知してもらうため、街中で目にする機会を増やして環境保全への意識を高める。
③災害に強い、安全なまちづくりグループ	【いつも身近に持っていられる「じぶん防災カード」の配付】 家庭の状況に合わせた備蓄品、避難場所等について、家族で話し合っって書き入れたり、ハザードマップが見られる二次元コードを載せたりするカードをつくる。 【子どもが参加しやすい防災イベントの工夫】 楽しみながら参加し、防災について学ぶことができるような体験イベントを身近な場所で行う。
④だれもが安心して暮らせるまちづくりグループ	【子どもの防犯意識を高めるために防災無線を活用】 防災無線の内容や回数を工夫して、子どもの防犯意識を高める。子ども・家庭・地域が一緒になって子どもの安全を守るまちづくりを考える。 【子どもの防犯対策として自動運転バスを活用】 放課後に子どもが一人で移動するときの安全を確保するため、防犯対策として「子ども自動運転バス」を走らせる。
⑤文化芸術・スポーツ活動が盛んなまちづくりグループ	【もっとスポーツを好きになってもらうスポーツイベント】 人気のスポーツを観戦・体験できたり、パラスポーツに親しんだりできるイベント。千葉市の特色を生かした「ちばストレッチ」を実施し、健康づくりにつなげる。 【千葉の海岸芸術作品コンクール】 まちをきれいにしながら芸術作品を生み出すことで、環境保全への意識向上や地球温暖化防止への理解促進、さらには千葉市の文化芸術活動の活性化を図る。
⑥デジタルテクノロジーで、便利で快適に暮らせるまちづくりグループ	【千葉市の魅力を共有し合うサイト】 開府900年の機会に、デジタルテクノロジーを使って千葉市民みんなで千葉市の魅力を共有し合う機会をつくる。 【高齢者やその家族が安心して暮らせる提案】 「どこシル伝言板」を子どもから高齢者まで幅広く知ってもらい、いざというときの対処方法がわかるようにする。